

ささやま

第115号

平成28年7月21日発行

8



手話奉仕員養成講座を、夜間に加え、昼間も開講

CONTENTS

P2-3 特集

・お互い様のまちづくりを目指して

P4-5 ・平成27年度 事業会計・報告

P6 NEWS福祉

・第17回篠山市社会福祉大会

・こんにちは！ ヘルパーです

P7 福祉INFOMATION

・ボランティアNAVI

・心配ごと相談日

・篠山市の福祉指標

P8 情報ボックス

・篠山市ファミリーサポートセンター

・善意銀行だより

コミュニケーションをとるために、日常会話程度の手話を学ぶ手話奉仕員養成講座入門課程が7月5日に開講しました。

本年度は、初めて昼間に講座を開催し、子育て中のお母さん達も意欲的に頑張っています。

お互い様のまちづくりを目指して



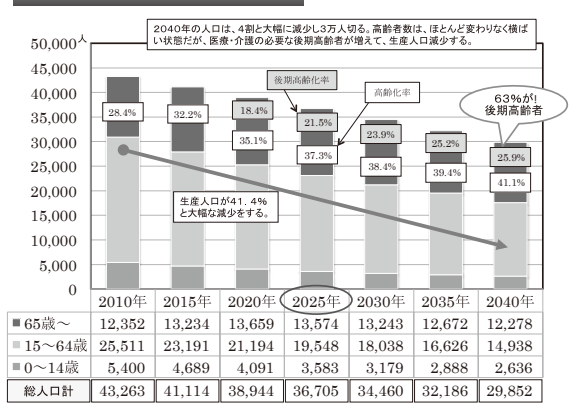
“できる”ことを支える地域づくり

篠山市の現状と将来推計

平成28年6月末、篠山市の総人口は、42,713人であり、平成21年度以降減少しています。一方65歳以上の高齢者人口は、13,715人に増加し、高齢化率は32.1%と進行しています。そのうち、65〜74歳までの前期高齢者が45%、75歳以上の後期高齢者の割合が55%となっており、今後も「高齢者の中の高齢化」が一層進行していきます。

また、15〜65歳までの生産人口が減少すると見込まれるなか、①要介護認定者や医療の必要な高齢者が増え、介護保険や医療サービスの利用が増大する。②生産年齢人口の減少により、介護・医療の専門職の確保が困難になる。③単身者や高齢者世帯における家事や外出手段、ちょっとした困りごとの生活支援ニーズが増加する。などの課題が想定されます。『できる』ことを増やして『できない』ことを支える地域づくりが必要です。

篠山市の将来推計人口



地域包括ケアシステムと新しい総合事業

地域包括ケアシステムとは、高齢者が要介護状態や認知症になっても、住み慣れた地域で生活を継続するため、心身機能の状態や生活環境の変化に応じて、医療、介護、予防、住まいなど、生活支援が日常生活圏域を単位として、総合的に提供される体制をいいます。

地域包括ケアシステムの構築において、医療や看護、リハビリテーション、介護と



今後は、身近な地域での支え合いが必要になります

いった専門職によるサービスの強化が必要なのは当然ですが、在宅生活の前提である調理、買い物、掃除などの生活支援の確保も、大きな課題となっています。

また、在宅生活を可能な限り、長く継続するためには、高齢者が自ら持つ能力を最大限に生かして、要介護状態を予防することも重要になります。

篠山市では、地域の特性に応じて、高齢者本人や地域住民、介護サービス事業所、民

また、平成29年4月より、多様な主体による柔軟な取り組みにより効果的かつ効率的にサービスを提供できるよう、予防給付の訪問介護、通所介護は、新しい総合事業に移行されます。「現行同等のサービス」「緩和したサービス」に加え「地域のボランティアによる支援」に変わり、多様な担い手が参加・協力し、地域の高齢者を支え合っていく取り組みが始まります。



まちづくり協議会や各自治会で開催されています

新しい生活支援サービスの充実にむけて 生活支援コーディネーターが

地域づくりのお手伝いをします

2025年には、篠山市の高齢化率も37%を超えることが見込まれるなか、介護保険制度だけでは、高齢化を支えきれなくなると言われています。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するため、新しい生活支援サービスの充実が急務となるなかこのたび、篠山市から生活支援サービス体制整備事業を受託し、地域における支え合い体制整備を推進する生活支援コーディネーター（地域支え合い推進

員）2名を設置しました。

生活支援コーディネーターは、地域において生活支援等、サービスの提供体制の整備に向けたコーディネート機能を果たすことで、主に地域資源の開発に関する業務として、①

②地域に不足するサービスの把握及び創出、③支援ニーズの把握、④サービスや支援の担い手の養成、⑤元気な高齢者が担い手として活動できる場の確保、⑥資源開発等を推進するネットワークづくりを目的とした協議体の設置と運営

が、主な業務となります。

また、見守り支援サポート事業やボランティアアポイント制度事業も兼務します。



生活支援コーディネーターの中西 秀男（左）、前川 敦子（右）

これからは、まず地域の集まりやサロン、各地域の活動状況を調べたり、地域の方々と関係性をつくることから始めていきます。



各地区1回以上の開催を予定しています

地区福祉会議を開催します

平成28年度も当社協では、市内19地区において、地区福祉会議を開催します。地区福祉会議は、自治会やまちづくり協議会、民生委員児童委員協議会、福祉委員連絡会を中心に、地域の各組織、団体、

福祉施設のメンバーが定期的・継続的に集い、地域の福祉課題を協議し、一人が抱える生活課題を地域の福祉課題にとらえ、課題解決に向けた福祉活動を推進していくことを目的としています。

このたび、当社協が篠山市より受託した生活支援サービス体制整備事業の協議体のひとつとして、地区福祉会議を位置づけ、地域における支え合い体制整備を推進していきます。



福祉マップを広げ、地域の困りごとについて協議しました

より身近な地域で

地区福祉会議が

開催されています



6月12日、西紀地区の上板井、小坂自治会（民生委員担当地区）では自治会長、民生委員、民生児童協力委員、福祉委員が集まり、福祉マップを活用し、各地域の高齢者や困りごとについて話し合いました。「地域と交流のない方の訪問時の対応」「空き家に不審者が侵入していた」「ゴミを捨てる人が多く対策が必要でないか」など、地域の身近な情報を出し合い、対応を協議されました。また、高坂、倉本、坂本自治会でも開催され、地域の高齢者について、情報交換を行い、今後も継続して開催されます。

あなたの地域で開催される地区福祉会議に参加してみませんか。

事業・会計報告

みんなのしあわせ



ファミリーサポートセンター事業

育児の援助を受けたい人、手伝いたい人、双方を行う人を組織化し、相互援助活動により、子育て環境を整えるとともに、孤立しがちな保護者と地域との橋渡しをすることで、支え合いによる子育て支援を行いました。



給食・配食サービス事業

ボランティアや障がい者福祉事業所の協力を得て、一人暮らし高齢者等を対象に、お弁当を利用者に手渡しし、安否確認と見守り活動を行いました。



外出支援サービス事業

一般公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者を対象に、通院手段を確保することを目的として、特殊車両による送迎を行いました。

生活福祉資金・緊急貸付資金事業

他の貸付制度が利用できない低所得世帯や高齢者世帯等を対象に、生活再建と更生を目的に、生活福祉資金の貸し付けを行いました。また、緊急かつ一時的な資金需要に対し、貸し付けを行いました。

居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、要支援・要介護状態にある利用者の心身の状況や、環境等に応じてニーズを把握し、利用者が在宅生活における生活目標を実現するために、ケアプランの作成を行いました。

訪問介護事業

介護保険法に基づき、ホームヘルパーを派遣し、誰もが住みなれた地域で安心して生活できるように、サービス提供をしました。

居宅介護事業

障害者総合支援法に基づき、ホームヘルパーを派遣し、誰もが住みなれた地域で安心して生活できるように、サービス提供をしました。

障害者相談支援事業

障害者総合支援法に基づき、相談支援専門員が利用者・家族からの相談に応じ、福祉サービス事業者等の連絡調整を行い、サービス等利用計画の作成を行いました。

3 地域と個人を支える法人組織の強化

災害時の地域支援

篠山市と「災害時における篠山市災害ボランティアセンターの設置及び運営等に関する協定」の締結を行いました。

東日本大震災被災地の復興支援を行うため、市民ボランティアを募り、災害支援ボランティアバス事業を実施しました(2回)。また、関東・東北水害被災地の復興支援を行うため、災害支援ボランティアグループの会員を中心に、災害支援活動を実施しました(2回)。

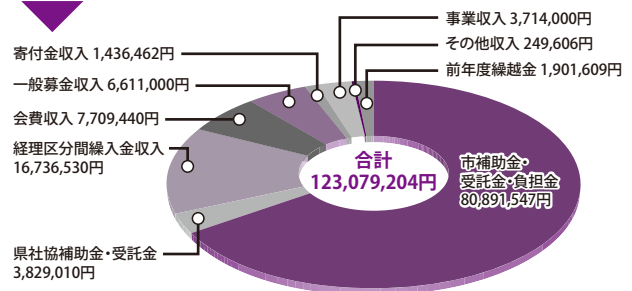


法人組織体制の充実・強化

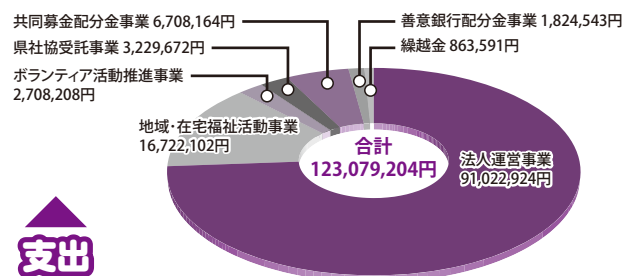
地域福祉の推進を図ることを目的とした団体として、運営基盤となる理事会、評議員会、監事会を定期的に開催し、組織運営の充実を図りました。篠山市内で福祉事業を展開する9法人と連携を図り、社会福祉法人連絡協議会を設立しました。

平成27年度会計報告

収入



支出



篠山市社会福祉協議会

つながりと支え合いでつくる

1 地域住民が支え合い、助けあうまちづくり

集落等福祉活動事業

高齢者が気軽に集い、孤立感の解消と、心身機能の維持向上を目的とした「ふれあい・いきいきサロン活動」を実施するため、市内12自治会を指定し、助成を行いました。



福祉委員活動

地域の福祉課題に対して、自治会長や民生委員・児童委員をはじめとした地域のみなさんと連携し、小地域福祉活動の中心的役割を担えるよう、活動を推進しました。

地区福祉会議

自治会長や民生委員児童委員協議会、福祉委員連絡会を中心に、まちづくり協議会と連携して、地域の福祉課題を協議し、解決に向けた取り組みについて話し合うことを目的に、15地区で地区福祉会議を開催しました。



福祉教育推進事業

アイマスクや車いす体験学習を開催するとともに、福祉学習メニューの提案や、講師の紹介を行い、福祉体験学習の充実を図りました。



ボランティア活動の推進と養成講座の開催

地域の福祉課題に対応できるボランティアの担い手を発掘し育成するため、手話奉仕員、点訳奉仕員、傾聴ボランティアなど全8講座の養成講座を開催しました。篠山市ボランティア連絡協議会の登録グループの活動や運営に、必要な経費を助成しました。



介護支援ボランティアポイント制度事業

高齢者のボランティア活動の支援を目的とし、介護保険施設などでボランティア活動を行った65歳以上の方にポイントを付与し、ポイント数に応じて換金を行いました。

募金活動への協力

10月を「赤い羽根共同募金運動」の募金推進強化月間として、自治会長、民生委員等の協力を得て、募金活動を実施しました。また、12月を「歳末たすけあい運動」の月間として、自治会長、各関係機関の協力を得て募金活動を実施し、寄せられた募金は、地域のたすけあいや支え合いを目的とした活動に配分しました。



福祉団体の事務局

篠山市老人クラブ連合会、篠山市身体障害者福祉協議会、篠山市婦人共励会、篠山市手をつなぐ育成会の事務局として、福祉団体の支援を行いました。

2 つながりを深めて、個人を支えるしくみづくり

東部・西部地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で生活が送れるよう、社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが連携し、総合相談支援業務、介護予防ケアマネジメント業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務及び権利擁護業務を通じて、総合的、一体的な支援を行いました。また、介護保険法に基づき、要支援の方を対象に、ケアマネジャーが介護予防のケアプラン作成を行いました。

見守り支援サポーター事業

手助けをしてほしい人と、手伝いをしたい人を会員登録し、家事の手伝いや話し相手、さりげない見守り活動を実施しました。

福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある高齢者、障がい者等が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、住民や関係機関と連携を図り、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、通帳の預かりサービスを行いました。

第17回社会福祉大会開催 お互い様のまちづくりを目指して

7月2日（土）、篠山市立四季の森生涯学習センターにおいて、約300名の参加を得て、第17回、篠山市社会福祉大会を開催しました。

地域で活躍されている自治会を表彰

当社協が行う「ふれあい・いきいきサロン事業」の指定終了後も継続して、サロン事業に取り組み続けている殿町自治会、木津自治会、市原自治会、芦原新田自治会に、地域福祉功労団体表彰を行いました。今後、地域のつながりづくりが、ますます深まることを期待します。



講演のなかで、近年「支え合い」という言葉が、地域や福祉を取り巻く環境でよく使われているが、支えることだけ「支え合い」と言っていることが多い。「支え合い」とは「支える」「行」と「支えられる」「行」が相まっている状態を指すのだが、支えられる立場の人



ホンモノの「支え合い」とは

広島県廿日市市より、「近所福祉クリエイターの酒井保さん」を講師に迎え「一人ひとりの『できる』で支え合う地域づくり」ホンモノの「支え合い」「づくり」5つのポイント」と題し、講演が行われました。

が、支える立場にもなることをあまり考えられていない。と問題提起されました。

人は、存在を認められ、役割を与えられ、それが評価されることで豊かさを感じる。困っている人を助けたい（自分の豊かさを充足させたい）という気持ちは、人間誰しも持っているものである。それは「支えられる立場」と言われる人も同じである。支えられる立場の人も、漬物作りが得意であったり、日曜大工が得意であったりと、それぞれできることがある。そしてそのことができるが、誰かの困りごとの解決につながるようなことができるのである。「できないこと」の支援「を」できることへの応援「に」変えることが、ホンモノの支え合いになると話されました。

今後、社協としても、地区福祉会議などを通して、一人ひとりの『できる』で支え合う地域づくりについて、住民の皆さんと、一緒に考えていきます。

こんにちは！
ヘルパーです



平成29年4月から要支援1・2が、介護保険から切り離され、篠山市が中心となり、新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）というサービスに切り替えられます。

現在、要支援1・2でホームヘルパーを利用されている方は、来年4月以降のことを心配されていると思いますが、「安心して下さい！」サービスが全くうけ



ヘルパー研修会のようす



私たちヘルパーが訪問しています

られなくなるのではなく、必要に応じてサービス提供が検討されます。

利用者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、兵庫県丹波健康福祉事務所長の逢坂吾朗氏をお招きし、「訪問介護の将来を考える」と題したヘルパー研修会を開催しました。

介護力の低下が心配されるなか、適切なサービスと専門職ならではの仕事は「私たちに任せて下さい」と言えるように自己研鑽に励んでいます。

篠山市見守り支援サポーター養成講座

手助けをしてほしい人（依頼会員）と、お手伝いをしたい人（サポート会員）を会員として登録し、家事のお手伝い、さりげない見守り活動により、高齢者が自宅で安心して生活できるよう支援する「篠山市見守り支援サポーター事業」を実施しています。

あなたも、サポーター養成講座を受講し、サポート会員として、地域で活躍してみませんか。

と き 8月24日(水) 午後1時～4時50分

(全2回) 8月31日(水) 午後1時～5時

と ころ 篠山市民センター

内 容

- ・介護保険制度の改正について
- ・高齢者とのコミュニケーションについて
- ・認知症の理解と対応についてなど

対 象 篠山市に住民登録のある方

募集人数 30名(申込順)

受講料 無料

申込締切 8月3日(水)



〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 地域福祉課
担当 前川 敦子 ☎590-1112

助成金情報

平成28年度 ひょうごボランティア基金 「県民ボランティア活動助成」

この助成金は、県民の地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を広げるとともに、県民自らが行うボランティア活動の支援を通じて、活動の安定的、かつ継続的な発展を図ることを目的としています。

受付期間 8月31日(水)まで

助成金額 1団体あたり上限3万円

エントリー数により助成金額を決定

申請条件

- ・兵庫県内において、継続的にボランティア活動を行う法人格を持たない団体
- ・構成人数が5人以上
- ・利用者への支援活動が年間12日以上
- ・助成対象経費が6万円(消費税込)以上

その他 パンフレットおよびエントリー書は、当社協にあります。

実施主体 ひょうごボランティアプラザ

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 総務課
担当 松本 ますみ ☎590-1112

篠山市 善行者表彰

給食福祉サービス「金曜会」、ひまわりグループ「ぴーち」が受賞

6月1日(水)篠山市民センターにおいて、「善意の日」(6月1日)に合わせ、篠山市善行者表彰式が行われ、篠山市ボランティア連絡協議会の給食福祉サービス「金曜会」と、ひまわりグループ「ぴーち」が受賞されました。

両グループとも、永年にわたり、給食サービスの調理配送ボランティアとして、在宅福祉サービスの向上に貢献されてきました。

これまでの活動に感謝するとともに、今後ますますのご活躍を期待します。おめでとうございます!



給食福祉サービス「金曜会」



ひまわりグループ「ぴーち」

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

とき	ところ
8月5日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
8月12日(金)	9:00～11:30 篠山市民センター
8月18日(木)	13:30～16:00 城東公民館
8月19日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
8月26日(金)	9:00～11:30 篠山市民センター
9月2日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
9月9日(金)	9:00～11:30 篠山市民センター
9月16日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
9月23日(金)	9:00～11:30 篠山市民センター
9月30日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター

篠山市の福祉指標

(平成28年6月末現在)

地区	人口	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠山	12,469人	4,041人	32.4%	↑	1,412人	11.3%	→
城東	3,312人	1,319人	39.8%	↑	270人	8.2%	→
多紀	3,251人	1,451人	44.6%	↑	283人	8.7%	↑
西紀	4,160人	1,332人	32.0%	↓	520人	12.5%	→
丹南	15,928人	4,383人	27.5%	→	2,178人	13.7%	↑
今田	3,593人	1,189人	33.1%	↑	365人	10.2%	→
計	42,713人	13,715人	32.1%	↑	5,028人	11.8%	→

善意銀行だより

5、6月分

(敬称略)

金銭預託

松本美千代 (5、6月) (井ノ上)	善意の預託… 6,000円
藤木千皓 (小中)	善意の預託…10,000円
井関道夫 (曾地奥)	善意の預託…20,000円
堀井良夫 (味間南)	善意の預託…10,000円
西澤敏夫 (栗柄)	善意の預託…10,775円
酒井基雄 (宮田)	善意の預託…30,000円
丹波ささやま農業協同組合女性会	善意の預託…27,500円
篠山市仏教会篠山支部	善意の預託…54,837円
黒住教日置教会所	善意の預託… 5,000円
黒住教婦人会日置支会	善意の預託… 5,000円
匿名	亡母の供養…200,000円

指定預託

サークル四ツ葉	九州災害派遣費用…10,000円
高山進好 (畑宮)	九州災害派遣費用… 6,429円
赤松美千代 (黒岡)	ささやま医療センター託児所…米6kg

物品預託

芦田富基子 (5、6月) (今田町芦原新田)	鉢植えの花9鉢…今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代 (5、6月) (垣屋)	折り紙細工…給食サービス
西澤昭美 (5、6月) (栗柄)	折り紙細工…給食サービス
小山玲子 (5、6月) (大沢新)	折り紙細工…給食サービス
田中光子 (5、6月) (川北新田)	折り紙細工…給食サービス
小谷重二 (知足)	玉ねぎ60kg、赤玉ねぎ10kg…給食サービス
岸田潔 (和田)	紙おむつ6パック…居宅介護支援事業所利用者
篠山小学校育成会	衣類、タオル他…訪問介護事業所利用者、他
匿名	玉ねぎ30kg…給食サービス

あとがき

初夏から秋にかけて、山登りのシーズンです。山ですれちがひ「こんにちは」と、声を掛けます。山では「ずっとその言葉がですが、平地では、なかなか…」▼7月4日、社協事務所の隣に、味間認定子ども園が開園しました。通園の際、園児と保護者の方が、「おはようございますー」と元気にあいさつされ、とても気持ち良いものです▼あいさつは、「コミュニケーションの始まりです。おはようございます」から、さわやかな1日を…

篠山市ファミリーサポートセンター

小学生
対象事業

介助犬を知ろう

デモンストレーションとふれあい

と き：7月31日(日)午後1時30分～3時
と ころ：四季の森生涯学習センター 大会議室(1階)
講 師：特定非営利活動法人
兵庫介助犬協会のみなさん
対 象：篠山市内に住む小学生
(1、2年生は保護者の付き添いが必要です)
定 員：20名
申込締切：7月28日(木)
送迎は、保護者の方が責任を持って行ってください。
保護者の方も参加できます。



冷蔵庫からペットボトルを出しているところ(室内訓練)

平成28年度 子育て支援講座(会員養成講座)

ファミリーサポートセンターでは、協力(両方)会員として、活動していただける方を募集しています。子どもが好きな方、子育ての応援をしていただける方の、ご参加をお待ちしています。

と き：8月27日(土)午前10時～午後3時
と ころ：丹南健康福祉センター 第1会議室(2階)
対 象：協力(両方)会員として、子どもの自宅での預かりや送迎を行っていただける方
「かんがるー」などの託児をお願いできる方
子育て支援に興味のある方
託 児：あり(5名まで要予約・会員優先)
申込締切：8月19日(金)
※昼食は、各自でご準備ください



かんがる、



子ども一時預かり “かんがるー”

●8月18日(木)、9月21日(水)
午前10時～12時

四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

●9月6日(火) 午前10時～12時

今田まちづくりセンター 和室(1F)

定 員：10名(生後6か月～就学前のお子さん)

利 用 料：子ども1人につき 1回500円

申込締切：各実施日の1週間前までに、お申し込みください

利用には申し込みが必要です

会員以外の方も利用できます

定員になり次第締め切らせていただきます

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市ファミリーサポートセンター

担当 林直美 ☎590-1388

